

# 政治経済学部政治経済学科カリキュラムマップ

## 政治経済学科 ディプロマ・ポリシー

本学科は、卒業履修単位を取得し、所定の課程を修めた以下を満たした者に対し、学士号（政治経済学）を授与する

- ① 政治経済を基礎として、自らの興味関心に応じて、社会科学（政治学・経済学・経営学・社会学・情報学・法学）に関わる専門知識を身につけ、社会の多様な問題を総合的に理解できる【知識】
- ② 現代社会が直面するさまざまな課題に対し、グローバルおよびローカルの両方の視点から考察し、自身の表現で説明できる【場・視点】
- ③ 実学的かつ実践的な学びに対し、主体的に問いを設定し、自ら探求し、行動することができる【態度・意欲】

## DP / 科目対応表

◎=強く学修成果を求めるもの ○=学修成果を求めるもの △=学修成果を望むもの

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
共通専門科目	POL-100	政治学	◎	◎	○	◎	○
	ECO-100	経済学	◎	○	○	◎	○
	FYE-100	社会への扉を開く	◎	◎	◎	◎	◎
	FUL-100	法学	◎	△	△	◎	○
	SOC-100	社会学	◎	◎	◎	◎	○
	MAN-100	経営学	◎	◎	○	◎	◎
	THI-100	情報学	◎	○	△	◎	○
	INR-100	平和学	◎	◎	○	◎	◎
	CLD-100	まちづくり学	◎	◎	◎	◎	◎
	FYE-100	基礎教育入門(書き方)	○	△	△	○	○

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
政治学系	POL-200	政治学方法論	○			△	◎
	POL-200	政治過程論	○	○	○	○	
	POL-100	行政学		○	◎	○	△
	POL-200	地方自治論	○	○	◎	◎	△
	POL-200	日本政治史A	○	○	△		
	POL-200	日本政治史B	○	○	△		
	POL-200	比較政治学	◎	○	○	△	
	POL-200	日本政治思想史A	◎	△	△		
	POL-200	日本政治思想史B	◎	△	△		
	POL-300	西洋政治思想史A	◎	△	△		
	POL-300	西洋政治思想史B	◎	△	△		
	POL-300	公共政策論	◎	○	◎	◎	◎
	POL-300	環境政策論		○	◎	◎	○
	POL-400	政治哲学	◎	△	△		
	POL-400	埼玉地域政策研究		○	◎	◎	○
	PHE-100	倫理学概論	◎	○		○	
	INR-200	国際政治学	◎	◎		○	
	INR-200	開発学A	○	◎	○	○	○
	INR-200	開発学B	○	◎	○	○	○
	INR-200	国際機構論	○	◎	△		
	INR-300	グローバル市民社会論	○	◎		○	△
	ARS-300	アジア地域研究A	◎	◎	○		
	ARS-300	アジア地域研究B	◎	◎	○		
ARS-300	北米地域研究	◎	◎	○			
ARS-300	欧州地域研究	◎	◎	○			
ARS-300	アフリカ地域研究	◎	◎	○			

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
法学系	PUL-200	憲法	◎	△	○	◎	◎
	ILA-200	国際法A	◎	◎	△	○	◎
	ILA-200	国際法B	◎	◎	△	○	◎
	ILA-300	国際人権法	◎	◎	△	○	◎
	ILA-300	武力紛争法	◎	◎	△	○	◎
	ILA-300	環境法	◎	◎	○	○	◎
	PUL-300	行政法	◎		○	○	◎
	SOL-300	経済法	◎	○	○	○	◎
	SOL-300	労働法	◎		○	◎	◎
	NFL-300	ジェンダー法	◎	○	○	◎	◎
	CIL-200	商法	◎		○	○	◎
	CIL-300	会社法	○		○	◎	○
	CIL-300	金融商品取引法	○		○	◎	○
	CIL-200	民法A	◎		○	○	◎
CIL-200	民法B	◎		○	○	◎	
経済学系	ECT-200	ミクロ経済学	◎	○	○		
	ECT-200	マクロ経済学	◎	○	○		
	ECT-200	経済思想史	◎	○	○		
	EDE-300	日本経済論	◎	○	○	△	△
	EDE-400	Japanese Economy Today	◎	○	○	△	△
	ECP-300	国際経済論A	◎	◎	○	△	△
	ECP-300	国際経済論B	◎	◎	○	△	△
	ECP-300	経済政策A	◎	○	○	△	△
	ECP-300	経済政策B	◎	○	○	△	△
	PFP-200	社会保障論A	◎	○	○	△	△
	PFP-200	社会保障論B	◎	○	○	△	△
	PFP-200	財政学	◎	○	○		
	PFP-300	地方財政	◎		◎	○	○
	PFP-300	労働経済論A	◎	○	○	△	△
	PFP-300	労働経済論B	◎	○	○	△	△
	PFP-300	地域経済論	◎		◎	○	○
	MOF-200	金融論	◎	○	○		
ECH-200	経済史	◎			△	△	

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に取り組むことができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
単 位 履 修	MAN-200	経営管理	○	◎	○	◎	○
	MAN-200	経営倫理	○	◎	○	◎	○
	MAN-200	組織行動論	○	◎	○	◎	○
	MOF-300	コーポレート・ファイナンス	◎	◎	○	○	◎
	MOF-200	パーソナル・ファイナンス	○	◎	○	○	◎
	MAN-300	異文化マネジメント	◎	◎	○	◎	○
	MAN-300	マーケティング論	◎	◎	○	◎	◎
	ACC-200	会計学A	◎	○	○	○	◎
	ACC-200	会計学B	◎	○	○	○	◎
	ACC-200	簿記	◎	○	○	○	◎
	MAN-300	経営史	◎	○	○	◎	○
	MAN-400	国際ビジネスの現場A	○	◎	△	○	◎
	MAN-400	国際ビジネスの現場B	○	◎	△	○	◎
	MAN-400	International Business	◎	◎	○	◎	○
	MAN-300	ベンチャー・ビジネス論	◎	○	○	○	◎
	MAN-300	コミュニティ・ビジネス論	◎	○	◎	○	◎
	MAN-300	中小企業論	◎	○	◎	○	○
	CAE-200	ビジネス実務				○	◎
	CAE-200	秘書学概論				○	◎

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
社会学系	EAE-100	環境学	◎	◎	○	○	△
	GDE-200	ジェンダー論	◎	○	△	◎	◎
	POL-200	社会政策論	◎	○	◎	◎	◎
	SOC-100	情報と社会	◎	◎	○	◎	△
	SOC-200	現代社会論	◎	○	○	◎	○
	SOC-100	地域社会論	◎	○	◎	○	△
	SOC-200	家族社会学	◎	○	◎	○	◎
	SOC-300	理論社会学	◎	◎	△	◎	△
	SOC-300	コミュニケーション学	◎	◎	△	○	△
	SOC-300	NPO・NGO論	○	◎	◎	◎	◎
	SWS-100	ボランティア概論	○	○	◎	◎	◎
	SWS-300	貧困に対する支援	◎	○	◎	◎	◎
SOP-300	社会心理学	◎	○	△	◎	◎	
情報学系	THI-200	情報処理	△	△	△	○	◎
	LIH-200	情報倫理	◎	◎	○	◎	○
	LIH-200	デジタルメディア論	◎	◎	○	○	○
	LIH-200	法政情報論	◎	◎	○	○	○
	LIH-200	情報メディア史	◎	◎	△	○	△
	LIH-300	情報システム論	◎	◎	△	◎	◎
	LIH-300	情報通信ネットワーク論	◎	○	○	○	◎
	LIH-300	社会科学とプログラミング	◎	△	△	○	○
	LIH-400	社会情報論	◎	◎	◎	○	○
	LIH-200	図書館情報技術論	○	○	○	△	◎
	LIH-200	情報サービス論	○	○	○	○	◎
	LIH-200	情報サービス演習A	○	○	○	△	◎
	LIH-200	情報サービス演習B	○	○	○	△	◎
	COS-200	デジタルコミュニケーション	○	○	○	◎	◎
	SOF-200	情報応用実践	△	○	△	△	◎
	SOF-200	プレゼンテーション技法	△	△	△	△	◎

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
その他	IND-300	インディペンデント・スタディA	○	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディB	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディC	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディD	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特論A	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特論B	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講A	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講B	◎	◎	◎	◎	◎
公務員	CAE-100	公務員講座(文章理解)	○	△	○	◎	○
	CAE-100	公務員講座(判断推理)	○	△	○	◎	○
	CAE-100	公務員講座(数的推理・資料解釈)	○	△	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(人文科学)	○	○	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(社会科学)	○	○	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(自然科学)	○	△	○	◎	○
	CAE-300	公務員特講(自治体研究A)	◎	○	◎	◎	○
	CAE-300	公務員特講(自治体研究B)	◎	△	◎	◎	◎
	CAE-300	公務員演習A	○	◎	○	◎	○
	CAE-300	公務員演習B	◎	○	◎	◎	◎
	CAE-400	公務員講座(専門A)	◎	◎	◎	◎	◎
	CAE-400	公務員講座(専門B)	◎	◎	◎	◎	◎

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点（文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴）を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
社会教育 主事	EDU-200	生涯学習概論A	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	生涯学習概論B	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	生涯学習支援論A	△	△	◎	◎	○
	EDU-200	生涯学習支援論B	△	△	◎	◎	○
	EDU-200	社会教育経営論A	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	社会教育経営論B	◎	○	◎	○	△
	EDU-300	社会教育実習	△	△	◎	◎	◎
	EDU-200	社会教育課題研究A	○	○	◎	◎	◎
	EDU-200	社会教育課題研究B	○	○	◎	◎	◎
	EDU-200	現代社会と社会教育A	○	△	○	○	○
	EDU-200	現代社会と社会教育B	○	△	○	○	○
	EDU-200	地域社会教育論A	○	○	◎	◎	○
EDU-200	地域社会教育論B	○	○	◎	◎	○	
演習 科目	FYE-100	予備演習A	○	◎	◎	◎	○
	FYE-100	予備演習B	○	◎	◎	◎	○
	SEM-200	専門演習A	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-200	専門演習B	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-300	卒業研究I	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-300	卒業研究II	◎	◎	◎	◎	◎
	THE-400	卒業論文	◎	◎	◎	◎	◎

# 人文学部欧米文化学科カリキュラムマップ

## 欧米文化学科 ディプロマ・ポリシー

- ① 国際人として世界を舞台に活躍するための、責任ある主体性やコミュニケーション力を習得する。
- ② グローバル世界に大きな影響力を持つ欧米文化についての知識や、それを源流とする思考法を身につける。
- ③ 現代国際社会の複雑な多文化状況を読み解き、文化的問題の解決に貢献するための文化的批判力を習得する。
- ④ こうした育成目途に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士（欧米文化学）の学位を授与する。

## DP / 科目対応表

◎=強く学修成果を求めるもの ○=学修成果を求めるもの △=学修成果を望むもの

			DP関連項目				
			DP1	DP2	DP3		
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての主体性	b.国際人としてのコミュニケーション力	a.欧米文化についての知識と思考法	a.国際社会の多文化状況への解釈	b.文化的批判力の習得
			国際人としての自己のアイデンティティを明確にし、環境的・社会的に重要な問題について自ら積極的に考え、行動することができる。	母語と異なる言語を自由に用いることができ、言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いについて深く理解して行動に取り入れ、その違いの認識に基づき、共通の理解を得るために協議することができる。	欧米文化圏の歴史、価値観、政治、コミュニケーション方法、経済、考え方、習慣的行動に関する高度な知識を有し、その知識を縦横に駆使して思考することができる。	複数の文化の世界観、権力構造、経験の重要な関連性を、歴史的に、または現在の状況に照らして深く分析し、高度に解釈できる。	獲得した知識や技能を応用し、文化的問題を複数の立場から多角的に考察し、有効な解決策を提示することができる。
基礎 学 科 目 群	FYE-100	基礎ゼミA	○	◎			○
	FYE-100	基礎ゼミB	○	◎			○
	FYE-100	基礎ゼミC	○	◎			○
地域 文 化 学 科 目 群	HEA-100	現代アメリカ事情			◎	○	
	HEA-100	ヨーロッパ入門			◎	○	
	ARS-200	アメリカの社会と文化			◎	○	
	ARS-200	英語圏文化			◎	○	
	ARS-200	フランス語圏文化			◎	○	
	ARS-200	ドイツ語圏文化			◎	○	
	ARS-200	スペイン語圏文化			◎	○	
	ARS-200	イタリアの社会と文化			◎	○	
	ARS-200	北欧の社会と文化			◎	○	
	ARS-200	東欧の社会と文化			◎	○	
	ARS-300	アメリカ美術			◎		○
	CJA-300	アメリカ大衆文化			◎	○	○
	ARS-300	イギリス研究			◎		○



			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての 主体性	b.国際人としての コミュニケーション力	a.欧米文化につ いての知識と思 考法	a.国際社会の 多文化状況へ の解釈	b.文化的批判力 の習得
			国際人としての 自己のアイデン ティティを明確 にし、環境的・ 社会的に重要 な問題について 自ら積極的に考 え、行動するこ とができる。	母語と異なる言語 を自由に用いるこ とができ、言語 及び非言語コミュ ニケーションに関 する文化的な違 いについて深く理 解して行動に取り 入れ、その違い の認識に基づき、 共通の理解を得 るために協議する ことができる。	欧米文化圏の 歴史、価値観、 政治、コミュニ ケーション方法、 経済、考え方、 習慣的行動に関 する高度な知識 を有し、その知 識を縦横に駆使 して思考するこ とができる。	複数の文化の世 界観、権力構 造、経験の重要 な関連性を、歴 史的に、または 現在の状況に照 らして深く分析 し、高度に解釈 できる。	獲得した知識や 技能を応用し、 文化的問題を複 数の立場から多 角的に考察し、 有効な解決策を 提示することが できる。
	CST-300	比較文化			○		○
	ARS-200	国際ボランティア入門A			○	○	○
	ARS-200	国際ボランティア入門B			○	○	○
	TOS-300	ツーリズムと文化形成			○		○
強 化 選 修 科 目	PHE-100	哲学入門			○	○	
	PHE-100	倫理入門			○	○	
	PHE-200	思想（倫理）			○	○	
	PHE-200	哲学の思考法			○	○	
	PHE-200	思想（キリスト教）			○	○	
	PHE-300	哲学の諸問題			○	○	
	PHE-300	現代倫理			○	○	
	PHE-300	キリスト教と人間学			○	○	
	歴 史 科 目 群	HSG-200	グローバル世界の歴史			○	○
HSG-200		ヨーロッパと近代世界			○	○	
HEA-300		ヨーロッパ近現代史			○	○	
HEA-300		ヨーロッパ中世・近世史			○	○	
ARS-300		アメリカ史			○	○	
HAA-300		イスラム文明			○	○	
HAA-300		イスラムと現代社会			○	○	

			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての 主体性	b.国際人としての コミュニケーション力	a.欧米文化につ いての知識と思 考法	a.国際社会の 多文化状況へ の解釈	b.文化的批判力 の習得
			国際人としての 自己のアイデン ティティを明確 にし、環境的・ 社会的に重要 な問題について 自ら積極的に考 え、行動するこ とができる。	母語と異なる言語 を自由に用いるこ とができ、言語 及び非言語コミュ ニケーションに関 する文化的な違 いについて深く理 解して行動に取り 入れ、その違い の認識に基づき、 共通の理解を得 るために協議す ることができる。	欧米文化圏の 歴史、価値観、 政治、コミュニ ケーション方法、 経済、考え方、 習慣的行動に関 する高度な知識 を有し、その知 識を縦横に駆使 して思考するこ とができる。	複数の文化の世 界観、権力構 造、経験の重要 な関連性を、歴 史的に、または 現在の状況に照 らして深く分析 し、高度に解釈 できる。	獲得した知識や 技能を応用し、 文化的問題を複 数の立場から多 角的に考察し、 有効な解決策を 提示することが できる。
文学 科目群	LIE-100	文学入門			◎		
	LIE-200	英米文学概論		○	◎		
	LIE-200	英米児童文学		○	◎		
	LIH-200	出版と編集			○		
	LIG-300	比較文学		◎	○	○	◎
	LIG-300	ファンタジー論		○	◎		○
	LIG-300	クリエイティブ・ ライティング		◎			○
芸術 科目群	ARL-100	社会と芸術文化A			◎	○	
	ARL-100	社会と芸術文化B			◎	○	
	ARL-100	社会と芸術文化C			◎	○	
	ASA-200	芸術と文化（西洋美術）			◎	○	
	ARL-200	芸術と文化（舞台芸術）			◎	○	
	ASA-200	芸術と文化（西洋音楽）			◎	○	
	ASA-200	芸術と文化（服飾）			◎	○	
	ARL-200	視覚・表象文化 （映像文化入門）			◎	○	○
	ARL-300	視覚・表象文化 （現代視覚文化）			◎	○	
	ARL-300	視覚・表象文化 （映画史）			◎	○	
	ARL-300	視覚・表象文化 （グローバル時代の映像）			◎	○	○
	DES-300	表現文化実習					○

			DP関連項目				
			DP1	DP2	DP3		
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての 主体性	b.国際人としての コミュニケーション力	a.欧米文化につ いての知識と思 考法	a.国際社会の 多文化状況へ の解釈	b.文化的批判力 の習得
			国際人としての 自己のアイデン ティティを明確 にし、環境的・ 社会的に重要 な問題について 自ら積極的に考 え、行動するこ とができる。	母語と異なる言語 を自由に用いるこ とができ、言語 及び非言語コミュ ニケーションに関 する文化的な違 いについて深く理 解して行動に取り 入れ、その違い の認識に基づき、 共通の理解を得 るために協議す ることができる。	欧米文化圏の 歴史、価値観、 政治、コミュニ ケーション方法、 経済、考え方、 習慣的行動に関 する高度な知識 を有し、その知 識を縦横に駆使 して思考するこ とができる。	複数の文化の世 界観、権力構 造、経験の重要 な関連性を、歴 史的に、または 現在の状況に照 らして深く分析 し、高度に解釈 できる。	獲得した知識や 技能を応用し、 文化的問題を複 数の立場から多 角的に考察し、 有効な解決策を 提示することが できる。
コミュニケーション 科目群	ENG-100	外国語学習ストラテジー		◎			
	ENG-100	TOEIC (初級) A		◎			
	ENG-100	TOEIC (初級) B		◎			
	ENG-200	TOEIC (中級) A		◎			
	ENG-200	TOEIC (中級) B		◎			
	ENG-200	英検対策A		◎			
	ENG-200	英検対策B		◎			
	ENG-300	TOEFL A		◎			
	ENG-300	TOEFL B		◎			
	ENG-200	就職に役立つ基礎英語		◎			
	ENG-200	職場に役立つ基礎英語		◎			
	ENG-200	グローバルコミュニ ケーションスキルズ		◎	◎		
	ENG-200	グローバルリーティ ングスキルズ		◎	◎		
	ENG-200	グローバルライティ ングスキルズ		◎	◎		
	ENG-300	アカデミックライ ティングスキルズ		◎	◎		
	ENG-200	映画を通して学ぶ 文化と英語		◎	◎		
	ENG-200	音楽を通して学ぶ 文化と英語		◎	◎		
	ENG-300	Public Speaking		◎	◎		
	ENG-300	Academic Debate		◎	◎		
ENG-300	Media Literacy		◎	◎			
ENG-300	English through Literature		◎	◎			

			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての 主体性	b.国際人として のコミュニケーション力	a.欧米文化につ いての知識と思 考法	a.国際社会の 多文化状況へ の解釈	b.文化的批判力 の習得
			国際人としての 自己のアイデン ティティを明確 にし、環境的・ 社会的に重要 な問題について 自ら積極的に考 え、行動するこ とができる。	母語と異なる言語 を自由に用いるこ とができ、言語 及び非言語コミュ ニケーションに関 する文化的な違 いについて深く理 解して行動に取り 入れ、その違い の認識に基づき、 共通の理解を得 るために協議す ることができる。	欧米文化圏の 歴史、価値観、 政治、コミュニ ケーション方法、 経済、考え方、 習慣的行動に関 する高度な知識 を有し、その知 識を縦横に駆使 して思考するこ とができる。	複数の文化の世 界観、権力構 造、経験の重要 な関連性を、歴 史的に、または 現在の状況に照 らして深く分析 し、高度に解釈 できる。	獲得した知識や 技能を応用し、 文化的問題を複 数の立場から多 角的に考察し、 有効な解決策を 提示することが できる。
言語・英語教育科目群	CST-100	異文化理解			○	○	○
	FLE-300	異文化コミュニ ケーション実習	○	○	○	○	○
	CST-200	グローバルと国際理解		○	○	○	○
	LIN-200	言語学概論		○	○		
	ENL-200	英語学概論		○	○		
	ENL-200	現代英文法		○	○		
	ENL-300	英語音声学		○	○		
	ESS-300	教えるための英文法		○			
	FNL-200	英語スピーチ発音法		○			
	FLE-100	児童英語教育（理論）		○			
	FLE-200	児童英語教育（カリ キュラム・デザイン）		○			
	FLE-200	児童英語教育 （ワークショップA）		○			
	FLE-200	児童英語教育 （ワークショップB）		○			
	FLE-300	児童英語教育 （インターナシップI）		○			
	FLE-300	児童英語教育 （インターナシップII）		○			

			DP関連項目				
			DP1		DP2		DP3
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての 主体性	b.国際人としての コミュニケーション力	a.欧米文化につ いての知識と思 考法	a.国際社会の 多文化状況へ の解釈	b.文化的批判力 の習得
			国際人としての 自己のアイデン ティティを明確 にし、環境的・ 社会的に重要 な問題について 自ら積極的に考 え、行動するこ とができる。	母語と異なる言語 を自由に用いるこ とができ、言語 及び非言語コミュ ニケーションに関 する文化的な違 いについて深く理 解して行動に取り 入れ、その違い の認識に基づき、 共通の理解を得 るために協議す ることができる。	欧米文化圏の 歴史、価値観、 政治、コミュニ ケーション方法、 経済、考え方、 習慣的行動に関 する高度な知識 を有し、その知 識を縦横に駆使 して思考するこ とができる。	複数の文化の世 界観、権力構 造、経験の重要 な関連性を、歴 史的に、または 現在の状況に照 らして深く分析 し、高度に解釈 できる。	獲得した知識や 技能を応用し、 文化的問題を複 数の立場から多 角的に考察し、 有効な解決策を 提示することが できる。
上級科目	ARS-400	欧米文化特論	○	○	○	○	○
	IND-400	インディペンデント・ スタディA	○	○	○	○	○
	IND-400	インディペンデント・ スタディB	○	○	○	○	○
	IND-400	インディペンデント・ スタディC	○	○	○	○	○
	IND-400	インディペンデント・ スタディD	○	○	○	○	○
	STA-400	海外研修A	○	○	○	○	○
	STA-400	海外研修B	○	○	○	○	○
	STA-400	海外研修C	○	○	○	○	○
関連科目	EDU-300	介護等体験及び 事前事後指導					
	EDU-300	キリスト教と学校教育					
	EDU-200	生涯学習概論					
	LIH-200	図書館情報学概論					
	LIH-200	図書館サービス概論					
	LIH-200	情報メディア史					
演習科目	EACL-A-200	専門演習I				○	○
	EACL-A-300	専門演習II				○	○
	EACL-A-300	卒業研究I				○	○
	EACL-A-400	卒業研究II				○	○
	EACL-A-400	卒業論文				○	○

# 人文学部日本文化学科カリキュラムマップ

## 日本文化学科 ディプロマ・ポリシー

- 日本の社会や文化の課題に、世界の中での日本を見つめるグローバルな視点から取り組むことができる人として活躍できるための、人文学の幅広くかつ深い学識を習得する。
- 歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重する専門的な知識にたつて、さまざまな持ち場で活躍できる市民としてのあり方を身につける。
- 文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、積極的な自己実現の意欲と、同時に他者を尊重する態度を涵養する。
- こうした育成目途に即した学科目を履修し、学科所定の卒業履修単位を取得した学生に、学士（日本文化学）の学位を授与する。

## DP / 科目対応表

◎=強く学修成果を求めるもの ○=学修成果を求めるもの △=学修成果を望むもの

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中での日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
共通専門科目	FYE-100	日本文化概論	◎	○	◎				
	FYE-100	基礎教育入門（書き方）	◎		◎			△	
	FYE-100	文章表現法	◎		◎			△	
学科基礎科目	JLN-100	日本語学概説	○		◎				
	JLT-100	日本文学概説	○		◎				
	JPH-100	日本史概説A	○		◎				
	JPH-100	日本史概説B	○		◎				
	JLE-100	日本語教育概論	○		◎				
	JLT-100	古典読解A	○		◎				
	JLT-100	古典読解B	○		◎				
	JLT-100	近現代文学読解	○		◎				
	HSG-100	史料読解	○		◎				
	HIT-100	日本思想入門	○		◎				
	ARL-100	伝統芸能入門	○		◎				
	CUA-100	相關文化	◎	○	○				
	CUA-100	比較文化概論	○	◎	○				
	HSG-100	文化交流史（アジアと日本）	○	◎	○				

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中で日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
	JLE-200	日本語表現法（ティベート）	△				◎	△	
	ARL-100	書道	○		◎				
	JLE-200	国際交流と多文化共生		△			◎	△	
文化論・ 比較文化系	ARL-200	日本の演劇			△	◎	○		
	ARL-200	日本の美術			△	◎	○		
	ARL-200	日本の音楽			△	◎	○		
	CUA-200	日本の民俗			△	◎	○		
	ARL-200	日本のポップ・カルチャー			△	◎	○		
	ARL-200	視覚・表象文化（映像文化入門）			△	○	◎		
	ARL-200	視覚・表象文化（グローバル時代の映像）		△	△	○	◎		
	CST-200	異文化間コミュニケーション		△			○	◎	△
	LIG-200	比較文学		△	△	◎	○		
	CUA-200	文化人類学			△	◎	○		
	CUA-300	日本文化特殊講義		△		◎	○	△	
CUA-300	比較文化特殊講義①		△		◎	○	△		
CUA-300	比較文化特殊講義②		△		◎	○	△		
文学・ 語学系	JLT-100	日本文学史（上代・中古）	○		◎				
	JLT-100	日本文学史（中世・近世）	○		◎				
	JLT-100	日本文学史（近現代）	○		◎				
	JLT-100	文学理論	○	○	◎				
	JLT-200	日本文学研究と批評（古典①）	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評（古典②）	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評（近現代①）	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評（近現代②）	△		○	◎			

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中で日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
文学・語学系	LIG-200	児童文学			○	◎	○		
	LIN-200	言語学概論			○	◎	○		
	LIN-200	対照言語学			○	◎	○		
	LIN-200	言語文化論			○	◎	○		
	LIN-200	心理言語学			○	◎	○		
	JLN-200	原典講読I	○		◎				
	JLN-200	原典講読II	△		○	◎	△		
	CHL-100	中国文学	△	○	◎				
	JLT-100	漢文学概説	△	○	◎				
	JLN-200	日本語学（文法）A	△		○	◎	○		
	JLN-200	日本語学（文法）B	△		○	◎	○		
	JLN-200	日本語学（音声・音韻）	△		○	◎	○		
	LIN-200	言語使用と社会	△	○		○	◎		
	JLE-100	日本語教授法講義		○	◎			△	
	JLE-200	日本語教授法演習	△	△		○	◎	△	
	JLE-300	日本語教育実習	△	△		○	◎	○	○
	JLE-200	日本語教材・教具論	△	△		○	◎	△	
	LIN-200	グローバル社会と国際理解	△	○		○	◎	△	
	JLT-300	日本文学特殊講義①			○	◎	○		
	JLT-300	日本文学特殊講義②			○	◎	○		
JLN-300	日本語学特殊講義			○	◎	○			
LIN-300	言語学特殊講義			○	◎	○			



			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中で日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
歴史・思想系	JPH-200	日本史の研究(古代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(中世史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(近世史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(近代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(現代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	歴史と文化	○		△	◎			
	JPH-200	歴史と社会	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(儒教)	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(仏教)	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(キリスト教)	○		△	◎			
	RES-200	比較宗教学		○	△	◎			
	CIB-200	中国思想		○	△	◎			
	JPH-300	日本史特殊講義	△			◎	○		
	HIT-300	日本思想特殊講義	△			◎	○		
応用科目	ESS-200	教えるための現代文A	△		○	◎	○	△	
	ESS-200	教えるための現代文B	△		○	◎	○	△	
	ESS-200	教えるための古典I			○	◎	○	△	
	ESS-200	教えるための古典II			○	◎	○	△	
	ESS-300	教えるための古典III			△	◎	○	○	△
	ESS-300	教えるための古典IV			△	◎	○	○	△
	EDU-200	キリスト教と学校教育	△			○	◎		△
	EDU-300	介護等体験及び事前事後指導				△	◎	△	○
	EDU-200	生涯学習概論			○	○	◎		
	LIH-200	図書館情報学概論			○	○	◎		

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中で日本の日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
応用 科目	LIH-200	図書館サービス概論			○	○	◎		
	LIH-200	情報メディア史			○	○	◎		
	IND-300	インディペンデント・スタディA	△	△		△	◎		○
	IND-300	インディペンデント・スタディB	△	△		△	◎		○
	IND-200	インディペンデント・スタディC	△	△		△	◎		△
	IND-200	インディペンデント・スタディD	△	△		△	◎		△
演習 科目	SEM-200	専門演習I				◎	◎	○	△
	SEM-200	専門演習II				◎	◎	○	△
	SEM-300	卒業研究I				◎	◎	○	○
	SEM-300	卒業研究II				◎	◎	○	○
	ESS-300	教職演習A				◎	◎	○	○
	ESS-300	教職演習B				◎	◎	○	○
修了 科目	SEM-400	卒業レポートA				○	○	◎	◎
	SEM-400	卒業レポートB				○	○	◎	◎
	THE-400	卒業論文				○	○	◎	◎

# 人文学部子ども教育学科カリキュラムマップ

## 子ども教育学科 ディプロマ・ポリシー

- ①「人間学を基底においた児童学」を通じて培った他者理解の方法論を基にして、言葉・子どもの文化・人間関係に関する素養を身につけた人を育てる。
- ②発達理論や心理学の知識を土台にして子どもの「言葉にならない思い」を汲むことができるとともに、対人援助技術を身につけコミュニケーション力を活かして社会で活躍できる人を育てる。
- ③異文化を背景とした「子どもの育ち」を応援できる、グローバル化に対応できる人を育てる。
- ④資格取得を求める学生に対しては、責任感と倫理観を備えた子どもを育てる専門人として、子どもとその家族の良きパートナーになり、子どもが生きやすい環境づくりと社会全体の福祉に貢献できる小学校教諭、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士となるよう育成を図る。

## DP / 科目対応表

◎=強く学修成果を求めるもの ○=学修成果を求めるもの △=学修成果を望むもの

		DP関連項目													
		DP1			DP2			DP3		DP4					
科目区分	ナンバリング	授業科目	他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもに関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての倫理観の涵養	専門職としての専門性の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得
			省察を通じて子どもの豊かさを理解する方法論として、子どもに他者を理解する力をつける。	言葉文化の豊かさを理解し、適切な言葉を選択することから理解・共感・興味・意欲が生まれることを促し、活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通じた子どもの福祉の保障に取組み、力を身につける。	発達と人間関係構築の理解をもとに、子どもの人間関係の育ちを関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身主体形成が保障される関わり方を模索し実践できる。	対象となる子どもの発達視点から、自らの援助方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自ら発信したいことを表出し、伝える方法を効果的に伝え、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者と共に育ち、その育ちの背景を尊重し態度に示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に対する一方、社会や世界に向かう子どもの視野を広げ、拓かれた関係性につなげる関わりを構築できる。	責任を果たす大人が抱えていること、育つことを認識し、子どもの育ちに関わる専門職としての自らの価値を知り、子どもへの育ちの場を確保し、育ちの場を育むことができる。	子どもに備わった専門職の倫理観が子どもの実現に不可欠であることを認識し、子どもの権利を擁護し、子どもの育ちの場を確保し、育ちの場を育むことができる。	子どもとの関わりを通して子どもへの思いを込め、将来に向けた長期的な視野に入れ、保育・教育実践方法を模索し、自ら実践することができる。	
共通基本科目	CHR-300	キリスト教文化論A	○								○				
	CHR-300	キリスト教文化論B	○							○	○				
	CHS-100	児童学概論	○			◎	◎			○	◎			△	△
	ESS-300	教職演習A							○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習B							○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習C							○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習D							○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習E							○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習F							○			○	○	○	○
	ESS-400	教職演習G	○						○	○	○	○	○	○	○
児童文化系統	ESS-300	教職演習(小学校英語A)		○					○			○	○	○	○
	ESS-300	教職演習(小学校英語B)		○					○			○	○	○	○
	CHS-100	児童学海外研修	◎					◎	◎			◎	◎		
	CHS-100	児童文化論	◎				○		○						
	CHS-200	絵本文化論		◎	◎					◎					
	LIG-100	児童文学		◎	◎					◎					
	LIE-100	英米児童文学		◎	◎					◎					
	LIG-200	ファンタジー論		◎	◎					◎					

		DP関連項目													
		DP1			DP2			DP3		DP4					
科目区分	ナンパ リング	授業科目	他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の涵養	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得
			省察を通じた子ども理解の方法論を子どもに限定しない他者を理解する力身につける。	言語文化の豊かさを意識し、適切な言葉を選択することから理解・共感・意欲が生まれることを心まえ、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通して子どもの福祉の実現や発達に取組む力を身につける。	発達と人間関係の理解をもとに、子どもの人間的成長を保障する関わり方を模索し実践することができる。	子ども「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形成を保障し、関わり方を模索し実践できる。	対象となる子どもの発達視点から、自らの援助方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自分の伝えたいことを表現し、伝える方法を模索し、効果的に伝える力がある。	文化的背景が子どもに与える影響について理解し、他者と共に育つことに向き合う際の視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを構築できる。	グローバル化もたらす課題に对应する一方、社会や世界に向かう子どもも育つことへの責任を果たす大人が備わらなければならないこと、子どもが親が子どもの福祉に不可欠であること、子どもの育ちに関する専門職としての自覚をもち、子どもに果敢に示す力がある。	子どもに備わった親が子どもの福祉を実現すること、子どもの環境を倫理的に点検、創出する力がある。	子どもに備わった親が子どもの福祉を実現すること、子どもの環境を倫理的に点検、創出する力がある。	資格/免許状の取得に必要な学修で身につけた知識・技能を、自らの実践を子どもの福祉に活かすことができる。	
	ESS-100	Smile English (幼児の英語)	○						◎	◎	◎	△	△	△	
	CHS-200	おもちゃ論							◎						
	EDU-200	異文化間教育	○	◎		○	○	◎	◎	◎					
	ASA-100	芸術と文化 (西洋音楽)			○				◎						
心理学系統	EDP-100	教育心理学	○	○		○	◎	◎							△
	EDP-100	発達心理学	◎			◎	◎	◎							△
	EDP-200	子ども家庭支援の心理学				○	◎	◎			△	◎	◎	◎	△
	EDP-200	教育相談 (カウンセリングを含む。)				○	◎	◎			◎	◎	◎	◎	△
教育学系統	EDU-100	教育原理	○			◎		○							△
	EDU-100	キリスト教教育論	◎			◎		◎	○		◎	△	△	△	
	SOE-100	教育社会学			◎		○			◎					△
	EDU-200	地域社会教育論A								○					
	EDU-200	地域社会教育論B								○					
	EDU-200	現代社会と社会教育A								○					
福祉・教育関連系統	EDU-200	現代社会と社会教育B				○				○					
	SWS-100	社会福祉					○	○		○					△
	SWS-200	子ども家庭福祉	○				○	○		○		○			△
	EDU-100	保育原理	◎				○	○		○					△
	SWS-200	社会的養護A				○	○	◎		○		○	◎	◎	△
	SWS-300	社会的養護B				○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	△
	EDU-200	乳児保育A	◎			◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	EDU-300	乳児保育B	◎			◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	SWS-200	子育て支援				○	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	EDU-200	障害児保育A	◎				◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	EDU-200	障害児保育B	◎				◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	EDU-200	子どもの保健			○										△
	EDU-200	子どもの健康と安全								◎		○	◎	◎	△
	SWS-300	子ども家庭支援論				○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	△
	EDU-200	子どもの食と栄養A				○	○	○	○	○		◎	◎	◎	△
	EDU-200	子どもの食と栄養B				○	○	○	○	○		◎	◎	◎	△



		DP関連項目													
		DP1			DP2			DP3		DP4					
科目区分	ナンバリング	授業科目	他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化背景とした「子どもへの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の涵養	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得
			省察を通じた子ども理解の方法論を子どもに他者を理解する力を身につける。	言語文化の豊かさを理解し、適切な言葉を選択することを通して、異味・異感を味わう。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を促す。	発達と人間関係の構築の理解をもち、子どもの人関係の育ちを保障する。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体性が保障される。	対象となる子どもの成長・発達の特徴から、自らの援助方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら伝えたいことを表現し、伝える方法を模索する。	文化的背景を及ぼすことについて理解し、他者との向き合い方を広げ、社会的関係性を構築できる。	グローバル化がもたらす課題に对应する一方、社会や世界に自らの視野を広げ、拓かれた関係性に関する力を創出できる。	責任を果たす大人が備えるべきこと、育つことの尊厳、子どもの育ちに関わる専門職としての倫理観を認識し、子どもの育ちに果たす役割を創出する力がある。	子どもに備わった個性や能力を最大限に引き出し、子どもの成長を促す。	子どもの福祉の理解をもち、子どもの権利を擁護し、子どもの育ちに関する力を創出する力がある。	子どもの福祉の理解をもち、子どもの権利を擁護し、子どもの育ちに関する力を創出する力がある。
EDU-300	保育内容・言葉		○	○			○	○	○			○	○	○	○
EDU-300	保育内容・表現		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
EDU-300	子ども理解の理論と方法		○	○	○	○	○	○	○						△
SNE-300	特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援		○				○	○	○	○					△
EDU-200	教育課程論										○	○			△
ESS-200	初等国語科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	初等社会科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	算数科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	理科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	生活科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	音楽科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	図画工作科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	家庭科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	体育科教育法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	外国語指導法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	道徳教育指導法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	総合的な学習の時間の指導法		○						○	○		○	○	○	○
ESS-200	特別活動指導法		○						○	○		○	○	○	○
EDU-200	教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）						○	○	○						△
ESS-200	生徒指導論（進路指導を含む。）						○	○	○			○	○	○	△
EDU-200	学校インターンシップ（基礎）		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-300	学校インターンシップ		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-400	幼稚園教育実習		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-400	幼稚園教育実習（副）		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-300	保育実習		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-300	保育実習指導		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-400	保育実習A		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-400	保育実習B		○				○	○	○			○	○	○	○
EDU-400	保育実習指導A		○				○	○	○			○	○	○	○

		DP関連項目													
		DP1			DP2			DP3		DP4					
科目区分	ナンバリング	授業科目	他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の涵養	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許の取得
			省察を通じた子ども理解の方法論を身につける。	言語文化の豊かさを理解し、適切な言葉を選択することから理窟・共感・意味・意欲が生まれることを心まえ、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通して子どもの福祉の実現や発達に取組む力を身につける。	発達と人間関係の関連性の理解をもとに、子どもの育ちを保障する関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形が保障される関わり方を模索し実践できる。	対象となる子どもの成長・発達の特徴から、自らの援助方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自らの伝えたいことを表現し、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者との文化的背景を尊重し態度を示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に对应する一方、社会や世界に向かう子どもたちの視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを構築できる。	責任を果たす大人が傍にいない子どもが育つこと、子どもが育つこと、社会や世界に不可欠であること、子どもの育ちに関する専門職としての責任感、子どもをめぐるとの倫理観を認識し、子どもの育ちに関する倫理的な点検、保全する力がある。	子どもと専門職の倫理観が子どもが育つこと、子どもの育ちに関する専門職としての責任感、子どもをめぐるとの倫理観を認識し、子どもの育ちに関する倫理的な点検、保全する力がある。	子どもと専門職の倫理観が子どもが育つこと、子どもの育ちに関する専門職としての責任感、子どもをめぐるとの倫理観を認識し、子どもの育ちに関する倫理的な点検、保全する力がある。	資格/免許取得に必要な学修で身につけた知識・技能・技術を、自らの実践を子どもの視点から点検して改善する方法を体験的に身につける。
教育関連科目	EDU-400	保育実習指導B	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	EDU-400	小学校教育実習	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-200	キリスト教と学校教育					○	○	○				△		
	EDU-200	介護等体験及び事前事後指導					○	○	○			△	△	△	
	SNE-100	障害児教育総論	○			○	△			○					△
	SNE-100	知的障害児の心理・生理・病理A													△
	SNE-200	知的障害児の心理・生理・病理B													△
	SNE-200	肢体不自由児の心理・生理・病理													△
	SNE-200	病弱児の心理・生理・病理													△
	SNE-300	情緒障害児の心理	○				△								△
	SNE-300	知的障害児指導法					○	○	○			○			△
	SNE-300	病弱児指導法	○				○	○	○			○			△
	SNE-300	障害幼児指導法	○				○	○	○			○			△
	SNE-300	肢体不自由児指導法	○				○	○	○			○			△
	SNE-200	視覚障害児の教育総論					△								△
	SNE-200	聴覚障害児の教育総論					△								△
	SNE-300	重複障害児の教育総論					△								△
	SNE-100	発達障害児の教育総論					△								△
	SNE-400	特別支援教育実習	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	LIH-200	学校経営と学校図書館								△					
LIH-200	学校図書館メディアの構成								△						
LIH-200	学習指導と学校図書館			○					△						
LIH-200	読書と豊かな人間性		○	○					△						
LIH-200	情報メディアの活用								△						
演習科目	SEM-100	専門演習I	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△
	SEM-200	専門演習II	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△
	SEM-300	卒業研究I	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△
	SEM-400	卒業研究II	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△





# 心理福祉学部心理福祉学科カリキュラムマップ

## 心理福祉学科 ディプロマ・ポリシー

- ① 心理学と福祉学を中心に、現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、「良き隣人」となって共生社会の実現に資するための基礎的な知識と能力を身につけた者に学士（心理福祉学）の学位を与える。
- ② 現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の実現に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して心理学研究法および心理学的支援の技術を修得し所定の科目を修めた者には、学士（心理福祉学）の学位を与え、「公認心理師となるために大学で修めるべき科目」を修めたことを証明する。（公認心理師国家試験受験資格を取得するためには、本学科卒業後に大学院課程を修了もしくは指定機関における実務経験を得る必要がある。）
- ③ 現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の実現に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して社会福祉士に必要なソーシャルワーク技術を修得し所定の科目を修めた者には、学士（心理福祉学）の学位に加えて社会福祉士の国家試験受験資格を与える。
- ④ 現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の実現に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して精神保健福祉士に必要なソーシャルワーク技術を修得し所定の科目を修めた者には、学士（心理福祉学）の学位に加えて精神保健福祉士の国家試験受験資格を与える。

## DP / 科目対応表

◎=強く学修成果を求めるもの ○=学修成果を求めるもの △=学修成果を望むもの

			DPLーブリック					
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会 福祉研究法に 基づく研究の 理解と実践
共通専門科目	FYE-100	共生社会総論	◎	◎	◎	◎	◎	△
	CHR-300	キリスト人間学A	◎	◎	△	◎	◎	
	CHR-300	キリスト人間学B	◎	◎	△	◎	◎	
	LIH-100	情報社会の基礎理論	○	○	◎	△	○	◎
	HUP-100	人体の構造と機能及び疾病	○	○	△	○	○	
	HPH-200	公衆衛生学	○	○	△	○	○	△
	SWS-200	精神保健学	◎	◎	△	○	○	△
	PSS-200	精神疾患とその治療	◎	◎	△	○	○	△
	HPH-200	保健医療と福祉	◎	◎	△	○	○	△
	SOC-100	社会学と社会システム	△	◎	○	○	○	△
	SOC-100	家族社会学	△	◎	○	○	○	
	CHS-200	こども学	△	○	△	○	○	
	SWS-200	社会老年学	○	◎	△	○	○	△
	SWS-200	社会保障論	△	◎	△	○	○	
SWS-300	権利擁護を支える法制度	△	◎	○	○	○		

			DPルーブリック					
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会福 祉研究法に 基づく研究の 理解と実践
共通 専門科目	SOC-100	社会福祉調査の基礎	△	◎	○	○	○	◎
	SWS-100	ボランティア概論	△	◎	○	○	○	
	SWS-200	ボランティア実践論	△	◎	○	○	○	
心理 関連科目	PSY-100	心理学概論	◎	○	○	○	○	△
	EXP-100	心理学研究法	◎	◎	△	△	△	◎
	EXP-100	心理データ処理基礎	◎	◎				◎
	EXP-100	心理学統計法	◎	◎				◎
	EXP-100	心理学統計法I	◎	◎				◎
	EXP-200	心理学統計法II	◎	◎				◎
	EXP-100	知覚・認知心理学	◎	△	○	○	○	△
	EXP-200	神経・生理心理学	◎	△	○	○	○	△
	EDP-200	発達心理学	◎	△	○	○	○	△
	EDP-200	児童心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	青年心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	教育・学校心理学	◎	△	○	○	○	△
	SOP-100	社会・集団・家族心理学	◎	△	○	○	○	△
	EDP-200	対人関係論	◎	△	○	○	○	
	CLI-300	司法・犯罪心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-200	健康・医療心理学	◎	△	○	○	○	△
	EXP-100	感情・人格心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-300	福祉心理学	◎	◎	○	○	◎	△
	CLI-200	臨床心理学概論	◎	△	○	○	◎	△
	CLI-300	発達臨床心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-200	カウンセリング心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	障害者・障害児心理学	◎	◎	○	○	◎	△
	SOP-200	関係行政論	◎	◎	△	△	○	
EXP-100	学習・言語心理学	◎	△	○	○	○	△	
SOP-200	産業・組織心理学	◎	△	○	○	○	△	

			DPルーブリック					
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会福 祉研究法に 基づく研究の 理解と実践
福祉 関連科目	SWS-100	社会福祉の原理と政策	○	◎	△	○	○	△
	SWS-100	ソーシャルワークの基盤と専門職	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの基盤と専門職(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法A	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法B	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法C(社会)	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	子ども家庭福祉論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	高齢者福祉論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	障害者福祉論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	貧困に対する支援	○	◎	△	○	○	△
	SWS-200	地域福祉と包括的支援体制	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	医療福祉論	○	◎	△	○	○	△
	SWS-200	スクールソーシャルワーク論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	スクールソーシャルワーク実践	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク演習	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク実習指導	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク実習	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	刑事司法と福祉	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-300	福祉サービスの組織と経営	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-200	精神保健福祉制度論	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法C(精神)	◎	◎	○	○	○	△
SWS-200	精神障害リハビリテーション論	◎	◎	○	○	○	△	
SWS-100	精神保健福祉の原理A	◎	◎	◎	◎	◎	△	
SWS-100	精神保健福祉の原理B	◎	◎	◎	◎	◎	△	
国家資格 演習・実習科目	公認心理師	SWS-100	心理学統計法実践	◎	○	△	○	◎
		EXP-200	心理学実験	◎	○	◎	◎	◎
		CLI-200	心理的アセスメント	◎	○	◎	◎	◎
		CLI-300	心理学的支援法	◎	○	◎	◎	○
		CLI-200	公認心理師の職責	◎	○	◎	◎	○
		CLI-200	心理演習	◎	○	◎	◎	○
		CLI-300	心理実習	◎	○	◎	◎	○

			DPルーブリック						
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④				
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会福 祉研究法に 基づく研究の 理解と実践	
国家資格演習・実習科目	社会福祉士	CLI-300	ソーシャルワーク演習(共通)	○	◎	◎	◎	◎	△
		CLI-300	ソーシャルワーク演習A(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		CLI-300	ソーシャルワーク演習B(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200	ソーシャルワーク演習C(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SOP-200	ソーシャルワーク演習D(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SOP-200	ソーシャルワーク実習指導(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SOP-200	ソーシャルワーク実習指導II(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SOP-200	ソーシャルワーク実習指導III(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SOP-300	ソーシャルワーク実習(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
SOP-300	ソーシャルワーク実習II(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△		
国家資格演習・実習科目	精神保健福祉士	CLI-300	ソーシャルワーク演習(共通)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300	ソーシャルワーク演習A(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300	ソーシャルワーク演習B(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300	ソーシャルワーク演習C(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200	ソーシャルワーク実習指導(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200	ソーシャルワーク実習指導II(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200	ソーシャルワーク実習指導III(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300	ソーシャルワーク実習(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
応用科目		SWS-300	インディペンデントスタディA						
		SWS-300	インディペンデントスタディB						
		SWS-300	インディペンデントスタディC						
		SWS-300	インディペンデントスタディD						
演習科目		SEM-200	専門演習I						
		SEM-300	専門演習II						
		SEM-300	卒業研究I						
		SEM-400	卒業研究II						
		SEM-200	専門演習I(社会老年学)	◎	◎	○	○	○	◎
		SEM-300	専門演習II(社会老年学)	◎	◎	○	○	○	◎
		SEM-200	専門演習I(社会心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
		SEM-300	専門演習II(社会心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-200	専門演習I(家族心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-300	専門演習II(家族心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-200	専門演習I(臨床心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-300	専門演習II(臨床心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-200	専門演習I(集団心理学)	◎	○	○	○	○	◎
		SEM-300	専門演習II(集団心理学)	◎	○	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習(ソーシャルワーク論)	◎	◎	○	○	○	◎	

			DPルーブリック					
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会福 祉研究法に 基づく研究の 理解と実践
演習科目	SEM-300	専門演習II(ソーシャルワーク論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(子ども・家庭福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(子ども・家庭福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(高齢者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(高齢者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(精神保健福祉論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(精神保健福祉論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(キリスト教人間学)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(キリスト教人間学)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(生活支援論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(生活支援論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(障害者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(障害者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(福祉政策論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(福祉政策論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-200	専門演習I(学校臨床学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習II(学校臨床学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(社会老年学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(社会老年学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(社会心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(社会心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(家族心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(家族心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(臨床心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(臨床心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(集団心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(集団心理学)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(ソーシャルワーク論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(ソーシャルワーク論)	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(子ども・家庭福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II(子ども・家庭福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I(高齢者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎
SEM-400	卒業研究II(高齢者福祉論)	○	◎	○	○	○	◎	
SEM-300	卒業研究I(精神保健福祉論)	◎	◎	○	○	○	◎	
SEM-400	卒業研究II(精神保健福祉論)	◎	◎	○	○	○	◎	
SEM-300	卒業研究I(キリスト教人間学)	○	◎	○	○	○	◎	
SEM-400	卒業研究II(キリスト教人間学)	○	◎	○	○	○	◎	

			DPルーブリック					
			DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
科目 区分	ナンバリング	授業科目	①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会福 祉研究法に 基づく研究の 理解と実践
福祉 演習	SEM-300	卒業研究I（生活支援論）	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II（生活支援論）	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I（障害者福祉論）	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II（障害者福祉論）	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I（福祉政策論）	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II（福祉政策論）	○	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究I（学校臨床学）	◎	○	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究II（学校臨床学）	◎	○	○	○	○	◎
	SWS-400	卒業論文	○	○	○	○	○	◎